

東京低平地の 高潮対策と まちづくりを考える

第一部 基調講演 (14:30 ~ 15:35)



「東京都の
高潮浸水想定図を
読み解く」

高知工科大学 学長
磯部 雅彦 氏

第二部 パネルディスカッション (15:40 ~ 17:00)

「東京低平地の高潮対策とまちづくりを考える」をテーマに、磯部氏をファシリテーターとして、3 名のパネリストのみなさんとパネルディスカッションをします。



ファシリテーター
高知工科大学
学長
磯部雅彦氏



東京都港湾局
港湾整備部
水防対策担当課長
村岡洋次郎氏



Lueur 場所と
空間の研究所
所長
難波匡甫氏



(株)建設技術研究所
東京本社
水システム部
安藤達也氏

海に囲まれた日本において、私たちはその恩恵だけを受け取ることはできず、同時に脅威や危機にもさらされる運命にあります。海からやってくる津波や高潮対策は、豊かな暮らしや住みよい社会の大前提である人身の安全確保であり、必要不可欠な生きるための工夫です。近年、地球の温暖化による海面上昇や、台風やサイクロン、ハリケーンの大型化による高潮被害が世界各地で年々深刻化し、その対策が急務となっています。そのような状況を受け、東京都では 2018 年に「想定し得る最大規模の高潮による浸水想定区域図」を作成、発表しました。この世界的な高潮の脅威、危機に直面し、これから私たちの暮らしに何が起こりうるのか。どのような対策が必要なのか。どのようなまちで豊かに暮らし、そして後世に残していきたいのか。みなさんで一緒に考えていきたいと思います。

参加費無料

2020.10.30 (金)

〔申込〕 要事前申込
登録方法は裏面参照

〔定員〕 200 名 (先着順)

〔締切〕 10 月 23 日 (金)

14:30-17:00

オンライン開催

(Zoom ウェビナー)

登壇者プロフィール



磯部雅彦氏 Isobe Masahiko
高知工科大学 学長

【略歴】

1975 年東京大学工学部土木工学科卒業。1981 年東京大学工学博士。1992 年東京大学工学部土木工学科教授。2009 年東京大学副学長を経て 2013 年高知工科大学副学長、2015 年に同大第 4 代学長に就任、現在に至る。専門は、海岸工学、沿岸域環境学。日本沿岸域学会会長（2011 年）、東京大学名誉教授（2013 年～）、102 代土木学会会長（2014 年）などを務める。第 58 回交通文化賞（国土交通省）受賞（2015 年）、海洋立国推進功労者表彰（内閣総理大臣賞、2019 年）、土木学会功績賞（2020 年）。



難波匡甫氏 Nanba Kyosuke
Lueur 場所と空間の研究所 所長

【略歴】

芝浦工業大学建築学科卒業、法政大学大学院修士課程修了。専門は地域形成史。博士（工学、法政大学）。芝浦工業大学非常勤講師、法政大学兼任講師。地域形成史の視点から都市における水辺再生に関わる研究や活動に従事。著書『江戸東京を支えた舟運の路 内川廻しの記憶を探る』『都市と堤防 水辺の暮らしを守るまちづくり』



村岡洋次郎氏 Muraoka Yojiro
東京都港湾局 港湾整備部
水防対策 担当課長

【略歴】

法政大学工学部土木工学科卒業。平成 9 年東京都庁入庁、都市整備局、政策企画局等を経て港湾局。港湾局では、東京国際クルーズターミナル、臨港道路南北線の建設等に携わり現職に至る。現職においては、東京港における防潮堤、水門等の海岸保全施設の整備から高潮浸水想定区域図の策定、高潮氾濫危険水位の設定等のソフト対策まで防災事業全般を担当。



安藤達也氏 Ando Tatsuya
(株)建設技術研究所
東京本社 水システム部

【略歴】

東京大学工学系研究科社会基盤学専攻修了。株式会社建設技術研究所 主任技師。主に洪水浸水想定区域図作成業務や、防災情報を一般向けに公開する「RisKma」の開発に携わる。土木学会ドボ博「川展」企画担当。社内研究「東京の水網復活に関する研究」（2017～2019）にて、防災ワーキング長を担当。

参加方法（事前登録から～当日までの流れ）

1 ウェビナー登録

参加には、事前登録が必要です。下記 URL または右の QR コードから「ウェビナー登録」をして下さい。

https://zoom.us/webinar/register/WN_TC4DoqTdTreBg7QqunpLaw

※登録には、Zoom アカウント（無料）が必要です。登録ページよりアカウント作成できます。



2 登録完了メール

ウェビナー登録完了後、接続方法を記した登録完了メールが届きます。届いたら、登録完了です。

※登録完了メールが届かない方は、下記事務局までお問い合わせください。

※開催前日にも、同じ内容のリマインドメールが、登録メールアドレスに送られます。

3 開催当日

開催時刻までに登録完了メールの「ここをクリックして参加」をクリックし、「パスコード」を入力してご参加ください。

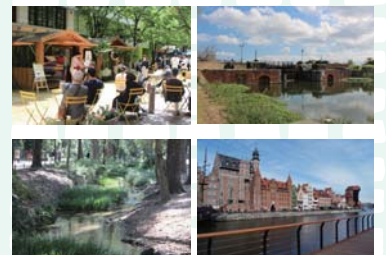
※PC、Mac、iPad、iPhone、Android デバイスから参加できます。PC、Mac 以外からの参加の場合は事前に Zoom アプリのダウンロードが必要です。

※視聴にかかるモバイルデータ通信費などは参加者の負担となります。有線接続もしくは Wi-Fi 接続の環境下でのご参加を推奨します。

(株)建設技術研究所（CTI）および国土文化研究所とは？

当社は 70 年以上の歴史を有する総合建設コンサルタントとして、調査、計画、設計、事業執行マネジメントなどの幅広い業務展開をしてきました。国土文化研究所は「心の豊かさを醸成できる空間を創出する」ことを目標として掲げ、これまでの CTI の知識・技術を結集して 2002 年に設立された研究開発組織です。

国土文化研究所は、2020 年にシンクタンク機能を有する組織として、更なる体制強化を目的とした組織編成を行いました。「計画的な研究開発」を担当する『インテリジェンス サービス プラットフォーム (ISP)』、『インフラ ソリューション グループ (ISG)』の 2 つの部署を新設し、従来の基礎、文化の 2 つの研究を対象とした「国文研研究」および CSR や人材育成、出版などの事業を『国土文化事業部』に集約し、3 つの柱で活動をしています。



国土文化研究所オープンセミナーとは？

頼るべき価値観が揺らぐ現代社会で、自分らしく、そして日本らしく暮らしていくには、巷に溢れる情報から真に役立つ情報を見極めるための「眼力（めぢから）」が必要です。国土文化研究所オープンセミナーは、このような「暮らしに役立つ眼力」を養うための機会を広く一般の皆様にご提供いたします。

《最近の開催実績》

第 15 回：2018 年 7 月 31 日開催 「インフラをとことん楽しむ方法ーインフラツーリズムの魅力を探るー」
講師：吉川弘道氏（東京都市大学名誉教授 株式会社日中構造研究所技術顧問）

第 16 回：2019 年 7 月 29 日開催 「1964 年東京オリンピックから半世紀 東京の都市デザインの軌跡」
講師：北河大次郎氏（文化庁文化資源活用課 文化財調査官）



※講師の肩書はセミナー開催当時のものとなります。

セミナーに関する お問い合わせ先

CTI 株式会社 建設技術研究所 国土文化研究所 セミナー事務局（担当：宮・篠木）

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-14-5 KDX 浜町中ノ橋ビル 2 階

TEL：03-3668-0694（ダイヤルイン） FAX:03-5695-1968 E-mail：kokudobunka@ctie.co.jp